

平成27年度

さかい障がい児放課後連絡会

第4回総会 議案書



平成27年度 さかい障がい児放課後連絡会

第4回 総会次第

平成27年6月16日（火）
10時～11時
堺市健康福祉プラザ大研修室にて

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

議長選出

3. 議事

(1) 平成26年度 活動報告 =連絡会・各委員会=

(2) 平成26年度 決算報告

(3) 平成26年度 会計監査報告

(4) 平成27年度 役員紹介

(5) 平成27年度 活動計画案審議 =連絡会・各委員会=

(6) 平成27年度 予算案審議

議長降壇

4. 閉会のことば

2014 年度(平成 26 年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告

(連絡会・役員会・代表者会議)

1. 運営体制

役員

会長	Linkみいけ (井上隆)
副会長	ひまわりくらぶ (谷山芳之)
書記(事務局)	コスモス地域福祉活動センターえと (榎尚子)
総務(事務局)	りーふぷらす (高田雅代)
事務(事務局)	ぷらむの家 (小田多佳子)
広報(事務局)	みるくはうす (藤原惣一)
会計	グリーン・ピース八田西 (中島貞子)
監査	児童デイサービスほのか (山岡環)
監査	青い鳥初芝教室 (川尻良典)

2. 活動内容

役員会

開催日	参加事業所数	内容
H26 年 4 月 24 日	9 事業所	通常連絡、中山先生講演会段取り、総会段取り、西浦新校送迎に関する提言準備、委員会振分けについて
H26 年 5 月 22 日	7 事業所	通常連絡、研修振返り、次年度計画、委員会振分け、総会資料詳細準備
H26 年 6 月 26 日	8 事業所	通常連絡、事務局設立、給付 Q&A・虐待研修のフィードバック
H26 年 7 月 24 日	8 事業所	通常連絡、全体・役員メール運用について
H26 年 9 月 26 日	8 事業所	通常連絡、事故・虐待発生時の報告書フォームについて
H26 年 10 月 23 日	8 事業所	通常連絡、事故・虐待発生時の報告書フォームについて
H26 年 11 月 27 日	6 事業所	通常連絡、送迎ルールについて
H26 年 12 月 25 日	8 事業所	通常連絡、新規事業所のフォロー、各委員会、組織体制の見直しについて
H27 年 1 月 22 日	8 事業所	通常連絡、連絡会の方針・ニーズについて
H27 年 2 月 27 日	9 事業所	通常連絡、総会資料段取り、振返り方針
H27 年 3 月 26 日	6 事業所	通常連絡、総会資料準備、次年度方針

※通常連絡とは、「加盟状況、代表者会議・連絡会の準備関連、各支援学校関連」をいう

連絡会

開催日	参加事業所数	内容
H26年5月9日	53事業所	連絡会/中山清司氏「問題行動への対応」
H26年6月13日	58事業所	連絡会/総会
H26年7月4日	57事業所	連絡会/子ども家庭課より「給付等の説明」/ 障害施策推進課「虐待防止研修」
H26年10月14日	58事業所	連絡会/行政委員会「事故発生報告について・ 集団指導をうけて」
H26年12月9日	61事業所	連絡会/子ども家庭課より「事項・医療関連の ルールについて」/研究委員会「放デイ利用者 アンケート結果共有とグループディスカッシ ョン」
H27年2月10日	66事業所	連絡会/教育委員会、西浦支援教頭より「西浦 新校について」/研修委員会「軽度発達障害の 特性」
H27年4月14日	66事業所	連絡会/事故虐待防止委員会「虐待防止研修」

代表者会議

開催日	参加事業所数	内容
H26年9月11日	12事業所	活動報告・課題共有/計画相談支援の現状と課 題・実地指導について・新規指定事業所の建物 基準
H26年11月11日	11事業所	活動報告・課題共有/各委員会の事業所稼動状 況とその温度差・送迎ルールの周知徹底
H27年1月13日	11事業所	活動報告・課題共有/今後の連絡会の体制と会 議の在り方について
H27年3月10日	9事業所	活動報告・課題共有/今後の連絡会の体制と会 議の在り方について・総会資料準備

3. 運営について・振り返り

良かった点

- 代表者会議など、役割を担う事業所同志の情報共有の形ができた。各委員会による共同企
画のきざしも見られた。
- 連絡事項を手短にできた。
- 時期に応じた、法改正の通達会などを開催できた。
- これまでのように、行政・学校・連絡会の3者で連携をとりながら問題解決等に取り組む
ことができた。(学校別面談、送迎体制、事故報告規約の制定、西浦新校の情報、法令改
定に応じた説明会開催、等)

苦慮した点

- 加盟事業所が約80か所となり、集会開催の手続きや相互理解が煩雑になっている。今後は各委員会単位に細分化し、事業所間の交流、資質向上を図りたい。
- これまでの法令改変の経緯や各学校のルールを理解していない新規事業所のフォローについて。
- 年間スケジュールでは対応しきれないニーズに対して、タイムリーな企画提案と情報発信の必要性が生じた。

2014 年度(平成 26 年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告

(事故・虐待防止委員会)

1. 運営体制

委員長	フローレットキッズ：永井
副委員長	ハピスポ：友寄
書記	キッズクラブはな：永野
会計	わんぱくハウス平井園：藤原
委員	VIVO HOUSE アンツ：澤井
委員	あすなる授産所：桃井
委員	ほんまちこどもデイ：西
委員	キッズはなくらぶ：山科
委員	メロディ：江口
委員	くまのこ：茶藪
委員	たんぽぽ：永良
委員	VIVO HOUSE マリク：盛
委員	Link ふかい：恒吉
委員	さくらくらぶ：藤本
委員	りんりん：林
委員	チェリー：荻田

2. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数(人数)	内容
H26. 4. 11	5 事業所	平成 26 年度運営方針
H26. 6. 13	15 事業所	マニュアル作成について班分け
H26. 7. 4	12 事業所	マニュアル項目の検討
H26. 10. 14	8 事業所	情報収集実施方法の検討
H27. 1. 27	16 事業所	項目担当分け・作成開始
H27. 2. 10	虐待防止・身体拘束班のみ	進捗状況確認
H27. 2. 17	事故防止・安全衛生班のみ	進捗状況確認
H27. 5. 未定	16 事業所(予定)	資料最終確認

研修(講師：施策推進課 西岡様)

研修名	開催日	場所	参加者
障害者(児)施設における虐待防止について	H27. 4. 14	健康福祉プラザ	81名

3. 運営について・振り返り

●全ての委員が参加出来るように、項目ごとに担当者を決め意見を出してもらった。

⇒すべての委員が携わる事が出来たが、作成意図の指示が不十分なところもあり、集約に時間が掛かった。

⇒当初はマニュアル作成を目標としていたが、マニュアル整備参考資料として作成する事で、各事業所がマニュアル整備に取り組んでもらえるような形に変更した。

⇒集約した意見をどのような様式にまとめるか？が最大の課題となった。

●会議（集まり）の回数を出来る限り少なくするため、メールでのやり取りを行う事で、時間の拘束を減らした。

⇒会議の回数を減らす事で、1回当たりの出席率が前年度より上がった。

※今年度の取組みで、委員会の中にも事故・虐待に関し不安を抱える事業所が多い事が解り、実際に発生した事例（架空事例も含め）の対処方法や解決方法等について「連絡会全体の取り組みにすべき！」言う声もあり、安全面では各事業所が互いに指摘しあい、「常に襟を正して行こう！」言う意見もあり、来年度の活動が更に充実した内容になると思われる。また「連絡会で収集した決め事や情報・苦情等を各事業所の管理者が全従業員に周知しているのか」と言う疑問もあり、他の委員会も交えて今後検討の場を作る必要もあると考える。

来年度の連絡会の役割として事業所が増える中、事故・虐待の問題は更に大きな問題・課題となる事は目に見えており、「障害特性理解」「安全意識」「運営リスク」等各委員会と共有の研修会を開催し、全事業所が足並みを揃え且つ全従業員に対し周知していく為の場として行かなければならないと考える。

1. 運営体制

代表	のあ・FC のあ (賀川)
副代表	ホップ(東内)
書記	持ち回り
委員	りーふ(山本)・りーふぷらす(高田)
委員	きらり(谷)
委員	ぽぷら園(竹田)
委員	かがやきハウス(澤田)・きらきらハウス(高松)
委員	ほのか(山岡)
委員	クレヨン(木寺)
委員	ぱんだ(板野)
委員	泉北わわ
委員	オリーブハウス(中谷)
委員	ホップ(佐々木)
委員	ひまわりくらぶ(谷山)・つくしんぼくらぶ(谷山)
委員	グリンピース八田西(中島)
委員	コアラ園堺東 (谷口)
委員	ぽいんといちに (我堂)
委員	キャンディ (小川)

2. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
5 月 9 日	16 事業所・15 名	・第 1 回研修会打ち合せ・役割分担
5 月 30 日	16 事業所・15 名	・第 2 回研修会の打合せ・第 1 回研修会
6 月 13 日	17 事業所・16 名	・第 2 回研修会の打合せ・役割分担
7 月 4 日	14 事業所・13 名	・第 2 回研修会の打合せ・第 3 回研修会の打合せ・11 月イベントの打合せ
7 月 10 日	17 事業所・17 名	・第 2 回研修会・第 3 回研修会の打合せ
9 月 16 日	17 事業所・17 名	・第 3 回研修会・11 月イベントの打合せ
10 月 7 日	17 事業所・17 名	・11 月イベントの打合せ・役割分担
10 月 14 日	17 事業所・17 名	・11 月イベントの打合せ
11 月 8 日	17 事業所・17 名	・11 月イベント
12 月 9 日	17 事業所・17 名	・第 4 回研修会の打合せ・11 月イベント反省会
1 月 13 日	17 事業所・17 名	・第 4 回研修会の打合せ・役割分担
2 月 10 日	19 事業所・18 名	・第 4 回研修会

研修（5回実施）

研修名	開催日	場所	参加者
<ul style="list-style-type: none"> ①放課後等デイサービスに求めることは？ ②管理者・児童発達支援管理責任者に求めることは？ 	平成26年5月30日 管理者・児童発達支援管理責任者対象グループディスカッション	健康福祉プラザ 大研修室	49 事業所 60 名
<ul style="list-style-type: none"> ・コーチング【スタッフの育成とコミュニケーション向上、上司としてのスキルアップ】 	平成26年7月10日 ProLeader 駄田井一孝氏	健康福祉プラザ 大研修室	41 事業所 48 名
<ul style="list-style-type: none"> ①職員の育成について ②チームワークについて 	平成26年9月16日 管理者・児童発達管理責任者対象グループディスカッション	健康福祉プラザ 大研修室	42 事業所 55 名
<ul style="list-style-type: none"> ・【セシリア】イベント 	平成26年11月8日 セシリア	ファインプラザ 大阪 大研修室	15 事業所 137 名
<ul style="list-style-type: none"> ・軽度発達障害の特性 	平成27年2月10日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	健康福祉プラザ 大研修室	43 事業所 90 名

3. 運営について

今年度の活動方針は去年の流れを引き継ぎながらスタートしました。現場に即した研修として、グループディスカッションに取り組みました。テーマもみんなのニーズから決定し、各事業所がテーマについてどのように取り組んでいるのかを交流し、学び合いました。基本的には児童発達支援管理責任者が中心の参加でしたが直接支援者の参加もあり、「大変勉強になった」「早速持って帰り、役立てる」等多くの声があり、来年度もつなげていきたい研修内容でした。このような研修をたくさん行う事で、スキルアップや色々な事業所とのコミュニケーションにもなっていると思います。

発達や障害の理解については研修を行った事で、多くの事業所から「子どもの見方が変わった」「深く理解することで支援の仕方が学べた」等大変好評でした。

新人育成については「コーチング」を教えて頂き、「現場で実行しています。」「スタッフとの関わりが増えました。」などの声を頂く事が出来ました。

もう一つは研修委員会でセシリアを招いて、初めて大きなイベントを開催出来た事です。たくさんの事業所に参加して頂き、大いに盛り上がる事ができ、怪我等も無く行える事が出来ました。来年も出来ればいいなと考えています。

概ね方針に基づいて実施できたことと今年度は役割分担が毎回きちんと果たされ役員全体で研修が進められたことは良かったと評価しています。グループディスカッションの司会者やイベントでの打合せ等で、何度も集まるなど役割によっては少し負担が大きかったと思いますので、今後はこのような係も交代でできるようにしていきたいと思います。

4. 課題

これからも事業所はまだ増えていく勢いです。研修内容についても毎回アンケートで様々なニーズがありテーマを決めることは来年度も絞っていくのは難しいなと思います。事業所数が増えれば増えるほど、利用者にとっては選べる箇所が増える訳で、その支援内容が問われていくことでしょう。放課後デイサービスを利用する子ども達が豊かな時間を過ごせるよう、支援力がアップするような研修、次々開所する事業所に今までの研修を伝えられたり、データや資料を整理していき、皆さんの力になれる研修委員会で在り続けたいと思います。

又、来年度は各委員会とのコラボ企画などができればいいなと思います。

1. 運営体制

代表	えーゆークラブ (松岡)
副代表 (担当副会長)	えーゆーハウス (宮崎)
書記	えーゆールーム (住田) すまいるガーデン (長田)
委員	青い鳥初芝教室 (川尻)
委員	みるくはうす (藤原)
委員	放課後クラブふらっと (坂口)
委員	ちえりいくらぶ (浅田)
委員	ステップ (藤井)
委員	VIVO HOUSE アンツ美原 (笠松)
委員	児童デイサービス ILIS CLUB 鳳 (山田)
委員	ゆずっこくらぶ (大和)
委員	ぷらむ (小田)
委員	ウイキット (山本)
委員	ティコティコ (稲松)
委員	かみひこうき (岩本) * 2月より
委員	トモダス深阪教室 (鶴木) * 2月より
委員	わかば七道 (曾根) * 2月より

2. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数(人数)	内容
5月9日	9事業所 (9名)	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報・基本情報等の参考様式の検討 実地指導時に必要となる提出書類について
6月13日	14事業所 (14名)	<ul style="list-style-type: none"> 新年度の役員体制と事業所確認ならびに各活動担当決め
7月4日	12事業所 (12名)	<ul style="list-style-type: none"> 必要書類の情報収集、Q&Aについて 子ども家庭課より6施設立ち入り情報収集日の確認
9月11日	10事業所 (10名)	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生時の報告等取扱要領(案)について検討及び確認
10月14日	12事業所 (12名)	<ul style="list-style-type: none"> 9/25 集団指導の注意事項の資料を参考に基準等の再確認 当委員会担当のグループディスカッションについての打ち合わせ
12月9日	8事業所 (8名)	<ul style="list-style-type: none"> 事故報告の一連の流れの確認 リスクマネジメント研修開催についての検討
2月10日	13事業所 (13名)	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備点検について 報酬改定等による事業者説明会について 今後の委員会体制ならびに会議のあり方について
4月14日	12事業所 (12名)	来年度活動計画・役員配置

研修

研修名	開催日	場所	参加者
事故発生報告について・集団指導をうけて	平成 26 年 10 月 14 日	健康福祉プラザ 大研修室	58 事業所

3. 運営について

今年度は、堺市へ提出する事故・苦情等の報告についての基準やルール、報告様式例作成などを堺市と打ち合わせや役割担当し、行政委員会内で吟味・検討を経て内容確定後、事故発生時における報告の一定基準や統一様式など明確な取扱要領を行政より示されたことは成果であった。また、9月の集団指導ののち、運営に関する基準や報酬算定に関する事項に於いての周知徹底や実地指導についての具体的な内容、運営に関する疑問点など委員会研修を利用しグループディスカッション出来たことにより新たな質問事項を整理出来たことも良かった。今後は、大阪府、大阪市、堺市の放課後等ディサービスの Q&A 情報を纏めて、実態に合った Q&A 作りを堺市子ども家庭課と一緒に考えて行きたい。更に行政との協力、密な連携を重ねながら堺市の放課後等デイサービス事業所の相談窓口としての確立を図ってゆく。

4. 課題

- ・集団指導や法令改正に対応する情報収集と発信には、時期を逸しないスピーディーな対応が必要となる。緊急の報告会の開催が必要となった。
- ・加盟事業所が増加し続ける中、求めている情報、知識など正確な状況把握が困難になっている。また、それらの発信手段にも臨機応変さが必要となっている。
- ・事業所が増えることによって増えるであろう、学校の乗り入れや事故やヒヤリハットなどの諸問題を「事故虐待委員会」と連携し、報告書だけで終わらないためにも行政も把握してもらい、学校も巻き込んだ対策や事業運営のモラルを強化して行かなければならない。

1. 運営体制

委員長	と・らいず ふれんず (林)
副委員長	じらふ泉北 (別所)
書記	※その都度持ち回り
委員	ロバの子ハウス (越智)
委員	Link みいけ (恒吉)
委員	Link にわしろ (堀田)
委員	ぴーすの児童デイぽんた (上善)
委員	わくわくクラブ (川端)
委員	えると (西尾)
委員	あとむ (高橋)
委員	このこのアート (中谷)
委員	遊びリテーション LAK 宿院スタジオ (万代)
委員	ペガサス療養通所介護 (藤田・島)
委員	ばあばといっしょ (小畑)
委員	ぴょんぴょん教室 (稲原)
委員	smaile club (川田)
委員	クオリティ (上林)

2. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
5 月 15 日	6 事業所 ・ 6 名	放デイ利用者向けアンケートの内容見直しと配布・回収方法について
6 月 4 日	7 事業所 ・ 7 名	放デイ利用者向けアンケート封入作業
7 月 17 日	9 事業所 10 名	アンケート集計方法について
10 月 18 日	8 事業所 ・ 8 名	アンケート結果について、12 月の連絡会担当月について、地域の学校への送迎についてのアンケートについて
11 月 11 日	10 事業所 ・ 10 名	12 月の連絡会について (アンケート結果報告方法、グループディスカッション テーマ、役割分担)
12 月 3 日	10 事業所 ・ 10 名	グループディスカッション ゴール設定
12 月 9 日	12 事業所 ・ 13 名	グループディスカッション最終打ち合わせ
2 月 10 日	9 事業所 ・ 9 名	地域の学校への送迎アンケート集計方法について
2 月 12 日	6 事業所 ・ 6 名	来年度の委員会の体制について、来年度取り組む内容について
3 月 12 日	9 事業所 ・ 11 名	2015 年度の計画、2015 年度の体制、次何をするか

研修

研修名	開催日	場所	参加者
放デイ利用者アンケート結果共有とグループディスカッション	平成 26 年 12 月 9 日	健康福祉プラザ 大研修室	61 事業所

3. 運営について・振り返り

- ・計画、方針に沿って運営・実施できたと思う。実際にデイを利用している保護者向けのアンケートを実施し、利用者の声が聞けたのが委員会にとっても各事業所にとっても良かったと思う。
- ・アンケートを作成する際にその都度『何のため』ということを確認し合った結果、皆が委員会の目的をしっかりと持つことができ、それに向かっての団結力がとても強まったように思う。
- ・各事業所それぞれ特色は異なるが、子どもの放課後を充実した放課後にするため、また将来に向け社会で生きていくための力をつけるために支援をしている、という点では同じ方向を向いている。アンケートを通し、再度その方向に皆で向けたのではないかと感じた。しかし事業所が増え、ひとつの事に対して全部の事業所に協力を求めることは簡単なことではないということもアンケートを通して感じた。
- ・アンケートの集計等かなりのボリュームだが、普段委員会になかなか参加できない事業所さんにも分担してもらい協力してもらうことによって、参加でき、連携もとることができた。
- ・実施しようとしていることが大きいので、いつも中心になって集まるメンバーだけではなく、委員会の全事業所が協力し合って進めていかないと、難しい。
- ・各事業所での人事異動等で委員会に出ているスタッフが変わる事業所がいくつかあるため、今まで培ってき質を落とさないよう引継ぎ等をしっかりしていく必要がある。

さかい障がい児放課後連絡会 会則

第1条（名称）

本会は、「さかい障がい児放課後連絡会」という。

第2条（所在地）

本会の所在地は、代表の事業所におく。ただし連絡先は事務局担当の事業所住所・電話番号等を利用する。

第3条（活動目的）

堺市に在住する障がい児の放課後や休日等の支援活動を行うグループや事業所等が、連携・協力・協働することにより、各々の活動や事業の質の向上を行い安定したサービス等の提供を行うこと、及びそれら活動や連携等を行う中で、堺市に必要な『障がい児のための社会資源等』を研究し、提言や実現につなげることを目的とする。

第4条（活動内容）

本会は以下のような活動を行う。

- ①情報交換、共有
- ②親睦
- ③事業所並びに支援者の質の向上
- ④コンプライアンス及びリスクマネジメントの理解と向上
- ⑤必要な社会資源の研究、及びその提言や実現
- ⑥その他、障がい児の生活向上につながる活動

第5条（会員）

会員は、障がい児の放課後や休日の生活を支援している事業所やグループなどで、本会の目的に賛同し、所定の手続きを経て入会をした者をいう。

第6条（会費）

会費は、年3,000円とする。既納の会費はいかなる事由があっても返還しない。

第7条（入会および退会）

- （1）本会に入会しようとする者は、入会申込書に第6条記載の年会費を添えて申し込む。
- （2）退会する者は、代表へその旨を書面で提出する。なお定例総会において会員継続が確認できない会員は、退会とみなす。

第8条（役員）

- （1）本会に次の役員をおく。

会長 1名 会長は本会を統括し代表する。

副会長 1名以上 副会長は会長を補佐する。

事務局 若干名 書記、広報、総務、会員管理などの業務を行う。

会計 1名 会計は本会の会計を管理する。

監査 2名 会計や活動内容を監査する。

(2) 本会は次の委員会をおく。各委員会は代表及び副代表と若干名の委員で構成する。

①事故・虐待防止委員会 活動や事業における事故予防及び虐待防止についての検討や啓発を行う。

②研修委員会 指導員・スタッフ、管理者、事業所等のスキルアップを行う研修を企画・実施する。

③行政及び渉外委員会 行政及び関係機関等の外部との関係構築、情報収集等を担当する。

④研究委員会 本会の目的や活動にとって必要な研究を行い、啓発する。

(3) 役員は総会で選任する。役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(4) 委員は各事業の意向をふまえて決定し、その中で代表、副代表を選任する。委員、代表、副代表とともに任期は1年とし、再任は妨げない。

第9条（会議）

(1) 本会の議決を行う機関として、総会をおく。総会は会員で構成し、多数決をもって議事を決する。

総会は会長が召集するものとし、毎年1回以上開催し、次の事項を議決する。

①年度事業報告及び決算

②年度事業計画及び予算

③役員を選任

④本会の解散、合併に関する事項

⑤その他、本会の運営に関する重要事項

(2) 本会は活動実行における管理を行うため役員会をおく。役員会は会長が召集し、総会に付託すべき事項や総会の議決執行に関する事項及びこの会の日常の運営に関する事項を話し合い、実行する。

(3) 本会は活動実行をする委員会をおく。委員会は委員代表が招集し、担当するテーマに即した活動を話し合い、必要に応じた活動を行い、その計画や報告を、事務局を通じ連絡会に伝える。

(4) 本会は会員の情報交換や連絡及び親睦のため全体連絡会をおく。全体連絡会は事務局が招集し、活動全体の報告や情報交換及び話し合いを行う。

(5) 本会は役員会と委員会の連携のために、代表者会議を開く。代表者会議は事務局が招集し、役員と委員会が互いに報告や情報交換及び話し合いを行う。

第10条（会計）

(1) 本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

(2) 本会の経費は第6条の会費及びその他の収入をもって充当する。

(3) 本会の事業報告及び決算は、会計担当者が作成し、その年度末の会計報告とともに監査役の監査を受け、毎会計年度終了後3ヶ月以内に総会の承認を得なければならない。

第11条（会則の変更）

本会の会則を変更する場合は、総会の決議を得なければならない。

第12条（付則）

会則は、平成24年6月1日をもって施行する。

会則は、平成25年6月1日をもって施行する。

会則は、平成26年6月1日をもって施行する。

平成26年度 さかい障がい児放課後連絡会 会計決算報告書

(自 平成26年4月1日 ～ 至 平成27年3月31日)

(単位：円)

収入の部

項目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	備考
前年度繰越金	255,717	255,717	
年会費	195,000	225,000	1団体：3,000円×75団体
4月度研修(障がい特性の理解と支援)参加費	37,500	37,000	1名：500円×74名
5月度研修(問題行動について)参加費	37,500	53,500	1名：500円×107名
ホームページ作成時協賛費	30,000	27,000	1団体：3,000円×9団体
預金通帳利息	40	21	
福祉プラザ利用料・重複支払返金分	0	2,650	
新規通帳開設時仮入金分(後で相殺)	0	100	
合計	555,757	600,988	

支出の部

項目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	差引額	備考	
放課後連絡会 全体	事務消耗品費	5,000	1,838	3,162	領収書綴り・コピー用紙・印鑑・通帳開設時仮
	資料作成費	5,000	0	5,000	印刷代
	会場費	35,000	31,900	3,100	マイク・プロジェクター 使用料、冷暖房代等含む
	研修講師謝礼・交通費	52,000	71,900	-19,900	講師費・振込手数料
	ホームページ管理費	25,000	10,287	14,713	講師費・振込手数料
活動費	事故・虐待防止委員会	30,000	0	30,000	
	研修委員会	100,000	104,550	-4,550	会場費・講師謝礼等
	行政及び渉外委員会	19,000	0	19,000	
	研究委員会	41,000	11,261	29,739	アンケート封筒代・メール便代等
合計	312,000	231,736	80,264		

収入総計	支出総計	差引残高	備考
600,988	231,736	369,252	残金は次年度に繰り越す

上記の通り決算しましたので報告いたします。

平成27年6月16日

さかい障がい児放課後連絡会会計 グリーン・ピース八田西 中島 貞子



上記について、諸帳簿、証拠書類等を慎重に監査した結果、厳正に執行され、かつ正確である事を認めます。

平成27年6月16日

さかい障がい児放課後連絡会会計監査 青い鳥初芝教室 川尻 良典



さかい障がい児放課後連絡会会計監査 児童デイサービスほのか 山岡 環



平成27年度 さかい障がい児放課後連絡会 役員名簿

	氏名	法人名・会社名	事業所名
会長	井上 隆	社会福祉法人 堺あすなろ会	Linkみいけ
副会長	谷山 芳之	一般社団法人 しえいくはんず	ひまわりくらぶ
事務局	榊 尚子	社会福祉法人 コスモス	コスモス地域福祉活動センターえると
	藤原 惣一	株式会社 GVPマネージメント	みるくはうす
	小田 多佳子	特定非営利活動法人 ビーす	キッズサークルふらむ
	高田 雅代	一般社団法人 けあ・すぷりんぐ	リーふぷらす
会計	中島 貞子	生活協同組合 エスコープ大阪	グリーン・ピース八田西
	山岡 環	有限会社 栄友社	児童デイサービスほのか
監査	川尻 良典	社会福祉法人 こころの窓	青い鳥初芝教室

平成27(2015)年度 委員会名簿

さかい障がい児放課後連絡会 H27.4

	事故虐待防止	研修	行政渉外	研究
代表	フローレットキッズ:永井	運動療育クラブのあ:賀川	えーゆークラブ:松岡	ロバの子ハウス:越智
副代表	ハピスポ:友寄	ホップ:東内	キッズサークルぷらむ:小田	このこのアート:中谷
書記	あすなろ授産所:桃井	きらきらハウス:高松	えーゆールーム:住田	とらいずふれんず:山崎
会計	わんぱくハウス平井園:藤原	クレヨン:木寺	すまいるガーデン:長田	あとむ:高橋
委員	ほんまちこどもデイ	ひまわりくらぶ	みるくはうす	わくわくクラブ
	たんぽぽ	つくしんぼくらぶ	ゆずっこくらぶ	Linkみいけ
	VIVO HOUSEアンツ	グリーン・ピース八田西	青い鳥初芝教室	Linkにわしろ
	くまのこ	オリーブハウス	ステップ	えると
	メロディ	ほのか	ふらっと	じらふ泉北
	VIVO HOUSEマリク	リーふ	VIVO HOUSEアンツ美原	ぴよんぴよん教室
	Linkふかい	リーふぶらす	えーゆーハウス	ペガサス療養通所介護
	さくらくらぶ	運動療育クラブFCのあ	ティコティコ	smile club
	りんりん	ぼんだ	アイリスクラブ鳳	クオリティ
	ちえりー	ほいんといちに	ちえりいくらぶ	虹のかぐや
	わいわいはうす	ぼぶら園	ウィキット	ペガサスレスパイトケアセンター
	ほんまちこども園	泉北わわ	かみひこうき	遊びリテーションLAC宿院スタジオ
	さくらくらぶ北野田	かがやきハウス	トモダス深阪教室	オリーブ
	なないろキッズ	キャン・ディ	わかば七道	チルドレン
		コアラ園堺東	えーゆーホーム	元気っ子体操柔道療育クラブ
		こどもデイサービス きらり	ぼんた	
		ばあばといっしょ	キッズクラブはな	
		3ねん2くみ	キッズはなくらぶ	
		ピュアフレンズ	わおん	
所属数	18事業所	23事業所	23事業所	19事業所

合計 83 事業所

(連絡会・役員会・代表者会議)

1. 活動方針

①情報交換・共有

(特に各委員会代表と役員が一同に集まる会を隔月で継続し、各委員会からの参加枠を増やす。)

②事業所や支援者の親睦と質の向上

(各委員会の活性化による横のネットワーク構築と、全体連絡会は2カ月に1回のみ、各委員会主体で現場支援者に有意義な情報・研修の提供を継続する)

③コンプライアンス及びリスクマネジメントの理解と向上

④必要な社会資源の研究及びその提言や実現

⑤その他、障がい児の生活向上につながる活動

2. 運営体制

役員

会長	L i n kみいけ (井上隆)
副会長	ひまわりくらぶ (谷山芳之)
書記(事務局)	コスモス地域福祉活動センター えると (榎尚子)
総務(事務局)	リーふぷらす (高田雅代)
事務(事務局)	キッズサークルぷらむ (小田多佳子)
広報(事務局)	みるくはうす (藤原惣一)
会計	グリーン・ピース八田西 (中島貞子)
監査	児童デイサービスほのか (山岡環)
監査	青い鳥初芝教室 (川尻良典)

3. 年間方針案

- 各委員会への権限委譲を検討し、意識ある事業所が横につながり、活性化して ゆける体制を構築する。
- 委員会同士のコラボ企画を推進してゆく。
- 連絡会の存在感と意義を、加盟事業所・行政に再認識して頂ける企画の遂行と、政策決定に携われるような実力と信頼をつけることを念頭に意思決定してゆく。

【年間開催計画予定】

●全体連絡会（2カ月に1回）

7月・10月・12月・2月・4月（基本は、第2週火曜日 10時～12時）

●代表者会議（2カ月に1回）

7月（基本は、第1週火曜日 10時～12時）

9月・11月・1月・3月・5月（基本は、第2週火曜日 10時～12時）

●役員会（毎月1回）

8月を除く毎月（基本は、第4週木曜日 10時～12時）

●総会

6月の第2週火曜日（基本は、10時～総会 11時～各委員会）

月	全体会	担当	代表会議	役員会
6	○ 総会+各委員会	役員+各委員会	×	○
7	○ 連絡会担当	役員会	○	○
8	休み			
9	×	---	○	○
10	○ 行政委員会担当	行政委員会	×	○
11	×	---	○	○
12	○ 研究委員会担当	研究委員会	×	○
1	×	---	○	○
2	○ 研修委員会担当	研修委員会	×	○
3	×	---	○	○
4	○ 事故虐待委員会担当	事故虐待委員会	×	○
5	×	---	○	○
6	○ 総会+各委員会	役員+各委員会	×	○

(事故・虐待防止委員会)

1. 活動方針

※危機管理からリスクマネジメントへ

～例え

- ・傘を持たずに雨に降られてしまい、あわてて雨宿りの場所を探したり、コンビニエンスストアでビニール傘を買ったりするのは「危機管理」である。
- ・外出するときに雨が降っても濡れないで済むよう、折り畳みの傘を用意していくのは「リスクマネジメント」である。

以上の文章を基に取り組みを行う。

- ①障害特性を理解し虐待と疑われる接し方の芽を摘み取る
- ②発生事例（架空事例）の検証や対処・対策を行い、同じ過ちを繰り返さない
- ③事業所が互いに指摘し合う事で襟を正し、安全意識を高める研修
- ④全事業所の全従業員に対する周知の徹底を行うための研修

2. 運営体制

委員長	フローレットキッズ：永井
副委員長	ハピスポ：友寄
書記	あすなろ授産所：桃井
会計	わんぱくハウス平井園：藤原
委員	VIVO HOUSE アンツ：澤井（兼務）
委員	VIVO HOUSE マリク：澤井（兼務）
委員	ほんまちこどもデイ：西（兼務）
委員	ほんまちこども園：西（兼務）
委員	メロディ：平田
委員	くまのこ：茶藪
委員	たんぽぽ：永良
委員	Link ふかい：恒吉
委員	さくらくらぶ：藤本（兼務）
委員	さくらくらぶ 北野田：藤本（兼務）
委員	りんりん：林
委員	チェリー：井上
委員	わいわいはうす：後山
委員	なないろキッズ：一條

3. 年間計画案

- ・活動方針②を中心とした研修会を施策推進課及び他の委員会と共同で開催出来ればと考えている。
- ・①③④に関しては、新年度の委員会との会議の場で方向性を定める。

1. 活動方針

活動報告、課題のところで挙げたように今年度方針を下記のようにしたいと考えます。

2年目の体制に入るにあたり、前年度の反省と新しい感覚を大いに発揮しながら研修委員会を進めていきます。役割分担が偏らない様にみんなが発言し、役割が果たせるように工夫します。

- ①現場の声がすぐに反映できる、ニーズに合ったグループディスカッションに今年度も取り組みます。
- ②多くの事業所から支援力がアップする研修の要求が出ています。それは発達や障害の理解から始まるので、講師研修を予定しています。
- ③今年度も全体会議の中で研修委員会として1回受け持ちます。前年度に行ったイベントを今年も考えております。委員会で話し合い、子ども達に笑顔を提供できる企画をできればと思います。
- ④活動報告の課題のところで提案しましたが資料の整理やデータで希望があれば、新規事業所に伝えられるように整理をしていきます。
- ⑤各委員会と協力して、コラボ企画等が出来ればと考えています。

2. 運営体制

代表	のあ・FCのあ (賀川)
副代表	放課後クラブホップ (東内)
書記	かがやきハウス・きらきらハウス (高松)
会計	クレヨン (木寺)
委員	りーふ (山本)・りーふぷらす (高田)
委員	ぼいんといちに (我堂)
委員	ぼぷら園 (楠本)
委員	ひまわりくらぶ (谷山)・つくしんぼくらぶ (谷山)
委員	ほのか (山岡)
委員	ばんだ (板野)
委員	泉北わわ (富田)
委員	オリーブハウス (中谷)
委員	グリーンピース八田西 (中島)
委員	キャンディ (小川)
委員	きらり (安田)
委員	コアラ園堺東 (谷口)
委員	3ねん2くみ (川口)
委員	ばあばといっしょ (小畑)
委員	ピュアフレンズ (阪口)

3.年間計画案

5月	講師研修
6月	研修会
9月	研修会
11月	ハロウィンパーティーのような楽しいイベント企画
2月	講師研修（研修委員の受け持ち）

1. 活動方針

- ①委員会加盟事業所の法令に関する専門知識を高められるよう資質向上を図る。
- ②昨年度、細分化した担当グループごとの専門性に富んだ活動の充実を図る。
- ③堺市内の事業所数が増加している現状の中で、今後も各々事業所が意識統一出来るような基準や書式・様式の提示を行政に促し、提言を行っていく。
- ④事業所数増加により委員長だけの一元管理が煩雑になっており、委員会内で管理組織を確立し、すべての加盟事業所が運営に意欲的・協力的に参加できるような体制を整えていく。
- ⑤リスクマネジメント研修に向けての企画・開催を進めていく。

2. 運営体制

代表	えーゆークラブ (松岡)
副代表	キッズサークルぶらむ (小田)
書記	えーゆールーム (住田)
会計	すまいるガーデン (長田)
委員	みるくはうす (藤原)
委員	ゆずっこくらぶ (大利)
委員	青い鳥初芝教室 (川尻)
委員	ステップ (藤井)
委員	ふらっと (坂口)
委員	VIVOHOUSEアンツ美原 (笠松)
委員	えーゆーハウス (宮崎)・えーゆーホーム (植田)
委員	ティコティコ (稲益)
委員	アイリスクラブ鳳 (山田)
委員	ちえりいくらぶ (浅田)
委員	ウイキット (小島)
委員	かみひこうき (岩本)
委員	トモダス深阪教室 (鶴木)
委員	わかば七道 (平山)
委員	ぼんた (小田)
委員	キッズクラブはな (玉城)・キッズはなくらぶ (永野)
委員	わおん (中西)

3. 年間計画案

7月	Q&Aの進捗と確認
10月	Q&Aでの勉強会
12月	振り返り、ニーズの確認会議
2月	リスクマネジメント研修
4月	次年度方針の確認

1. 活動方針

地域の支援級の先生向けのアンケートを実施し、実態調査を行う。

先生方の日々の困り事や工夫されていることを知り、また、今後協力体制を組んでいけるようまずはそのアンケートを通して地域の先生たちにも放デイの存在や連絡会のことを知ってもらおう。

また、事業所のスタッフ向けのアンケートも実施し、共通の課題を見つけ、両者対象にしたその課題に対しての研修を行い、子どもたちを支援するという同じ立場として、デイスタッフと先生が顔を合わせる機会を設け、より一層子どもたちへの支援が充実することを計る。

また、他の委員会と協同していきたい。

- ・地域の学校の支援級の先生向けにアンケートを実施
- ・放デイスタッフへのアンケートを実施
- ・データ集計・分析
- ・そのアンケートで見えてくる課題を題材にした教員・デイスタッフ対象にした研修を実施

2. 運営体制

委員長	ロバの子ハウス (越智)
副委員長	このこのアート (中谷)
書記	と・らいず ふれんず (山崎)
会計	あとむ (高橋)
委員	Link にわしろ (恒吉)・Link みいけ (楠本・片川)
委員	えると (岩槻)
委員	わくわくクラブ (川端)
委員	じらふ泉北 (松江)
委員	遊びリテーション LAK 宿院スタジオ (万代)
委員	へがサ療養通所介護 (藤田)・へがサスルパイトケアセンター (小谷)
委員	ぴよんぴよん教室 (稲原)
委員	クオリティ (上林)
委員	smile club (川田)
委員	虹のかぐや (松本)
委員	オリーブ (山本)
委員	チルドレン (山田)
委員	元気っ子体操柔道療育クラブ (米田)

3.年間計画案

4月	・地域の学校の支援級の先生向けアンケート内容見直し
5月	・地域の学校の支援級の先生向けアンケート作成
6月	・地域の学校の支援級の先生向けアンケート完成
7月	・地域の学校の支援級の先生向けアンケート配布、実施
8月	
9月	・地域の学校の支援級の先生向けアンケート回収、集計 ・スタッフ向けアンケート作成
10月	・データ分析 ・スタッフ向けアンケート完成
11月	・スタッフ向けアンケート配布、実施
12月	・スタッフ向けアンケート回収、集計
1月 2月 3月 のどこか	アンケート集計結果をふまえてグループディスカッションまたは研修

平成27年度 さかい障がい児放課後連絡会 収支予算書 (案)

(自 平成27年4月1日 ~ 至 平成28年3月31日)

(単位:円)

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	369,252	
年会費	240,000	1団体:3,000円×80団体を想定
ホームページ作成時協賛費	30,000	1団体:3,000円×10団体を想定
預金通帳利息	40	
合計	639,292	

支出の部

項目	金額	備考
放課後連絡会 全体	事務費	10,000 領収書綴り・コピー用紙・お茶・印刷代等
	会場費	35,000 マイク・プロジェクター使用料、冷暖房代等含む
	全体活動費	60,000 全大会・役員会・代表者会議に係る経費全般
	ホームページ管理費	25,000 ホームページ維持費・更新手数料等
小計	130,000	
各委員会 活動費	事故・虐待防止委員会	50,000 ※使用用途は各委員会にて管理願います。次年度総会にてご報告をお願いいたします。
	研修委員会	100,000 ※使用用途は各委員会にて管理願います。次年度総会にてご報告をお願いいたします。
	行政及び渉外委員会	50,000 ※使用用途は各委員会にて管理願います。次年度総会にてご報告をお願いいたします。
	研究委員会	50,000 ※使用用途は各委員会にて管理願います。次年度総会にてご報告をお願いいたします。
小計	250,000	
予備費	259,292	
合計	639,292	